
菊川市とSUS、災害時における避難所等施設利用に関する協定を締結

個室型の避難施設を短時間で設置可能なソーラーカーポートの災害時利用を提唱

FA向けアルミ製機器製品および機械装置の設計開発、製造、販売会社であるSUS(エスユウエス)株式会社(本社:静岡県静岡市 代表取締役社長:石田保夫 以下、SUS)は、8月18日(木)に菊川市と「災害時における避難所等施設利用に関する協定」を締結しました。

本協定は、SUS 静岡事業所(静岡県菊川市)の敷地内に完成したソーラーカーポートほかを、災害時に避難所ならびに復興支援ボランティアの活動拠点などとして菊川市に提供するものです。災害の発生により、周辺市民の住家が被害を受けた場合や公共交通機関の被災などにより帰宅困難者が発生した場合、または市の災害復興を支援するボランティアの受け入れを行う場合など、被害状況や復旧状況に応じて、菊川市主導のもとに当該施設を活用します。

当ソーラーカーポートは太陽光パネルを用いた屋根とそれを支える架台からなる屋外駐車場システムで、店舗や各種施設における屋外駐車場のより効果的な運用を目的として開発しました。駐車場の屋根として機能するだけでなく太陽光パネルによる発電ができ、災害などの非常時には、テントシートや床材、避難グッズを用いて避難施設として利用することが可能です。

現在、被災避難場所には、設置速度や広さ、プライバシー、コストなどさまざまな課題が山積していますが、ソーラーカーポートは、テント生地および床材を使用することで、プライバシーを守りつつ、手足を伸ばして過ごすために十分なスペースを確保できる「個室型」の施設を短時間で設置することができます。さらに、オプション機器との接続で、発電した電力の利用が可能になることも特徴の1つです。この度の締結を受け、ソーラーカーポートの用途として、売電や自施設での利用に加えて、災害時利用や地方自治体との協力によるCSR活動としての活用を、全国の商業施設に対して提唱していきます。

SUSでは、より一層地域社会に貢献すべく、今回の協定締結を起点に今後も菊川市と円滑な連携を図り、災害対策に取り組んでいきます。

【本件に関するお問い合わせ】

SUS東京広報センター(アズ・ワールドコム ジャパン内) 担当:水谷、星野 / 電話:03-5575-3228

SUS株式会社 広報担当: 野村 / 電話: 054-202-2000

<参考資料>

■ 締結内容概略

地震その他による災害発生の日から7日以内を目途に、避難場所および避難所並びに復興支援ボランティアの活動拠点等として、SUSが管理する以下の施設を菊川市が利用します。

• ソーラーカーポート

2,520m²の屋根付き駐車場を、一時避難場所として利用します。また、太陽光パネルが設置された屋根の下にベニヤ板で床を貼り、テントを張ることで、約 4.5 坪で 6-7 名が宿泊できる緊急避難仮設テントハウスとして活用します。

• t²

SUSの製品でもあるアルミ製ミニマル居住ユニットt²(床面積:約 8.8m²)をボランティアの活動拠点として活用します。

• 書類倉庫兼防災倉庫

テントハウス用の各種備品の他、テント式トイレ、簡易ベッド、キャンプ用テーブル・折り畳みイス、エンジン式発電機、その他、避難用飲料水・食料一式を収納しています。

• 糞尿処分エリア

SUSの敷地内に、糞尿処分エリアを確保します。





テントを張った ソーラーカーポート



t²の外観

■SUS 株式会社静岡事業所俯瞰



■SUS(エスユウエス)株式会社 概要

- 本 社： 静岡県静岡市駿河区南町 14-25 エスパティオ 6F
設 立： 1992 年 6 月 19 日
資 本 金： 2 億 9,000 万円
売 上 高： 205 億 5,500 万円（2016 年 2 月期連結売上 単体では 171 億 1,900 万円）
従 業 員 数： 688 名（2016 年 8 月 1 日現在）
事 業 内 容： FA 向け機械装置およびユニット機器製品の設計開発・製造・販売。
アルミ製住宅および建築用アルミ構造材の設計開発、製造販売。
アルミ製家具およびアルミ建材の設計開発、製造販売。